

長野県2050ゼロカーボン推進ワークショップ in なかごみ

世代を超えて考える2050ゼロカーボンへの取り組み(長野県地域発元気づくり支援金事業)



中込商店会(協)では今年度のデジタルマップ事業の中に高校生を交えたゼロカーボンへの取り組みを計画していました。

先週 1/21 ④にブレインストーミングを中心としたワークショップを開催しましたのでお伝えします。

多彩な参加者で

当日、午後1時から、現在社会実験中の中込中央グリーンモールの空き店舗を利用し、野沢南高校、野沢北高校、佐久平総合技術高校の皆さん、長野県環境政策課の皆様、大井岳夫県議会議員、中部電力パワーグリッドの皆様、市役所都市計画課の方など多くの皆様にご参加いただきました。

最初に県環境政策課の方から長野県が取り組んでいるゼロカーボンに向けた取り組み事例などの紹介、中部電力パワーグリッドの方による CO2 排出量の推移や再生可能エネルギー拡大についてなどをご説明いただきました。

ブレインストーミング

つづいて高校生を中心に3グループに分かれて、思い付いた CO2 削減につながりそうな事を付箋に書いて台紙に貼る作業をし、その付箋をグループ分けしてまとめました。

意見を出し合うなかで、中部電力の専門職の方もいるため、太陽光発電や水力、原子力などに関する質問が出たり、省資源に関する様々な情報の交換、個人や企業での取り組みなどの話題も出て、とても有意義な時間になりました。

写真では付箋の文字は読めないと思いますので、できるだけ記事にします。



グループでブレインストーミング中



付箋をどんどん台紙に貼っていきます



高校生が各グループの発表をしました

【家庭で】

地産地消を心掛ける
旬のものを食べる
はかり売りのお店をつかう
食品トレーを使わない
地域のB級野菜・果物販売
食品ロスをコンポストに
できるだけエコバッグを使う
断熱窓へリフォーム
コンセントを差しっぱなしにしない
電気をLED化
リビングでみんなで過ごす時間を
ふやす
エコ湯たんぽで夜の暖房をへらす
家で暖かいからこ
ペットにかかる費用、こたつなど

家電をへらす

いらないものを買わない
冬の日照取得量をふやす

【交通】

できるだけ乗り合いで移動する
自転車の道を整備する
燃費の良い車を選ぶ
バスの燃料をバイオ燃料にする
小海線存続、公共交通の利便性向上
EVなどへの補助金
少しの移動はなるべく車を避ける
馬専用の道をつくる

【学校で】

アルミ缶回収
制服などリサイクル運動

電子ノートを使う
図書館等に行く

【会社】

印刷をできるだけ減らす。ペーパーレス(デジタル化)
企業がオフィスを探すときはALL再エネビルを選ぶ
リモートで仕事はエコなの? 自宅のエアコン、ファンヒーター光熱費高い
会社を休みにする
【リサイクル】
古着マーケット
フリマでリサイクル
使えるものは使えなくなるまで使う

アースデイに参加する

【再生可能エネルギー】

長野で風力発電はほぼ使えない
望月には800世帯分の水力発電所がある
小水力発電は良いと思う
水力発電のダム+防災
ゼロ円ソーラーの取り組みがある
いろいろな川で発電ができればたくさん発電できると思う
高校生による自転車での発電、そのバッテリーでシニアカーを動かす。
バイオマス、ゴミを燃やす熱を利用して発電
建物の屋根で太陽光発電。
森の整備
地域で毎年木を一定数植えることを義務化する

【現状】

ゼロカーボンを知らなかった
火力が現時点で発電量が多い
日本のCO2排出量は世界5位

